

現代日本論基礎講読「研究法入門」

書店実習

田中重人 (東北大学文学部准教授)

1 東北大学大学生協文系書籍店で本を探す実習

[10:40] 文系書籍店に移動 → 好きな本を各自探す

[11:40] 教室に戻り、探した本について情報交換 (書誌情報 (著者・出版年・表題・出版社) のメモを提出)

まず、店内の全体を回って、どのような配置になっているかを把握すること (おおむね、分野別の本が左側、新書や文庫が右側に配置されており、雑誌のコーナーが真ん中にある)。

自分の興味のある本を適当にさがす。手に取って、立ち読みしてよい。よさそうな本については、奥付を見て書誌情報を控える。

- 内容の見当を短時間でつけるには、どう読めばよいか? → 目次、前書き、あとがき、索引、参考文献の活用

静かに、節度を守って探索すること

2 次回予定

つぎのものを持ってくること

- 自分が興味をもった本の書誌情報のメモ
- 現物 (買うか図書館で借りる)
- その本の目次部分と奥付を1枚にコピーしたもの2部 (A3などの大きな用紙に、余白をじゅうぶんにとって)

今日の実習でじゅうぶんに探せなかった場合は、各自で空き時間に探しておくこと。

なお、東北大学附属図書館の所蔵は、つぎのURLで検索できる。

[フルブラウザ用] <http://www.library.tohoku.ac.jp/opac/>

[モバイル機器用] <http://www.library.tohoku.ac.jp/iecats/>

